








令和4年度 GKP 広報大賞 エントリーシート

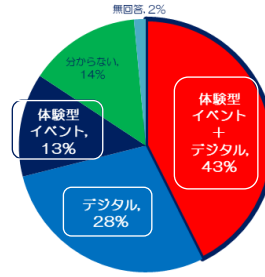
団体名 浜松市上下水道部	団体区分（混成の場合は複数☑） <input checked="" type="checkbox"/> 行政 <input type="checkbox"/> 民間 <input type="checkbox"/> 学校・NPO・個人等
取組名 デジタル活用イベント「すいすいクラブでSDGsを学ぼう！」の開催	
責任者 氏名：安藤 誠二 所属：上下水道総務課（経営企画グループ長） 電話：053-474-7019 E-mail：suidow-s@city.hamamatsu.shizuoka.jp	
担当チームの構成 安藤 誠二・竹田 俊介・佐伯 高志・高橋 侑里 （上下水道総務課 経営企画グループ）	 ヨシズミさん （浜松市上下水道部職員）
取組のポイント 9/4に『浜松市上下水道フェスタ 2022 ～すいすいクラブでSDGsを学ぼう！～』を開催 <ul style="list-style-type: none"> ・3年ぶりのイベント開催（市民の方の希望に応えるイベントの開催）※十分なコロナ感染症対策を実施 ・デジタルの活用（ウェブサイト「すいすいクラブ」を活用したデジタル系イベント） ・テーマの明確化によりイベントの統一感を演出（テーマ：「すいすいクラブ」と「SDGs」） 	
アピールポイント <div style="float: right; text-align: center;">  <small>「すいすいクラブ」</small> </div> <p>① ウェブサイト『浜松市上下水道キッズサイト「すいすいクラブ」』を活用したイベント</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「すいすいクラブ」ベースで作成したポスターの展示 ・TVモニターや電子サイネージ看板等で「すいすいクラブ」を紹介（サイトや動画の上映） → デジタルを活用することで、より分かりやすいイベントとなった！ <p><u>「デジタル広報ツール」を「デジタル」と「体験型」を兼ねる「ハイブリッド型広報ツール」として活用</u> <u><ウィズコロナ、アフターコロナに対応した新しい広報形態></u></p> <p>② 「すいすいクラブ」と「SDGs」の関連付け</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「すいすいクラブ」を通して、浜松市の下水道が「SDGs」に貢献している取組を紹介 → 話題性のあるテーマ「SDGs」の設定により集客力アップを図った！ <div style="display: flex; align-items: center; justify-content: center;">  ×  </div> <p style="text-align: right;">（「すいすいクラブ」のPRにも繋がった！）</p> <div style="display: flex; justify-content: center; align-items: center;">   </div> <p style="text-align: center;">てんさん りゅうさん （小学4年生）</p> <p><成果></p> <p>3年前（直近）実施のイベントと比べて約2.5倍の方が来場（大幅な来場者数の増↑） → 浜松市の下水道に対する興味・関心の喚起、「すいすいクラブ」の認知度向上に繋がる成果！</p>	
要したコスト 約60万円（TVモニター等賃借料、ポスター用紙等備用品費、配布グッズ制作費、イベント保険料等）	

取組の概要

背景

- ・コロナ禍に対応したデジタルによる広報活動の推進
 - 非接触型のデジタル広報ツールとして
 - ウェブサイト「すいすいクラブ」を公開 (R4.3)
- ・多くの市民が求める広報活動の形態は
 - 「体験型イベントとデジタルの両方」
 - 体験型イベントの再開を検討(コロナ感染症対策実施)

<R2年度 広聴モニターアンケート>
 今後の上下水道の広報活動は
 どのような形態がよいか？



コロナ禍の中
 デジタル広報だけではなく
 体験型イベントを希望する
 市民の方も多い！
 → 体験型イベントとデジタルの
 両方を兼ねた広報活動を検討



デジタル広報ツール「すいすいクラブ」を
 活用したイベントの開催を検討

取組

『浜松市上下水道フェスタ 2022 「すいすいクラブでSDGsを学ぼう!」』を開催(R4.9.4) <3年ぶりのイベント>

「すいすいクラブ」の
 サイトや動画を上映



8 汚れた水がきれいになるまで

浄化センターの仕組み

浜松市の浄化センターでは、小さな微生物の働きによって汚れた水をきれいにしていきます。微生物のおかげで、わたしたちは安心して台所やトイレの水を使って済むことができます。

資源の再利用

浄化センターで処理された汚泥(汚泥)は脱水してから、850℃以上の温度で焼いて資源に戻しています。

焼却してできた灰の一部は歩道の材料に再利用されています。廃棄物として捨てるのではなく、再利用に誇りを感じています。

浄化センターでは塩素で消毒し、水質検査を行ってから川や海へ放流しています。下水道で汚れた水をきれいにして川や海が汚れないようになっています。

多数のTVモニターや電子サイネージ看板等を設置することで、より分かりやすいデジタル系イベントとなるように工夫

デジタル広報ツール「すいすいクラブ」をデジタルと体験型を兼ねるハイブリッド型広報ツールとして活用
 → ウィズコロナ、アフターコロナに対応した新しい広報形態

「すいすいクラブ」と「SDGs」を関連付けたポスターを作成し展示(テーマの明確化によりイベントの統一感を演出)

「すいすいクラブ」を通して、浜松市の下水道が「SDGs」に貢献している取組を紹介

話題性のあるテーマ「SDGs」により集客力アップ

コロナ感染症対策の実施

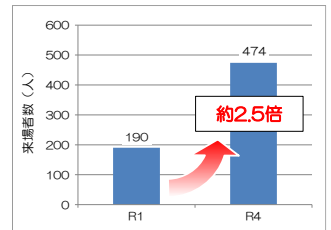
- ・入口で検温
- ・入口と出口を決め、一方通行の通路を設定し、来場者の混雑を回避



- ・浜松市デザインマンホールの展示
- ・浜松市デザインマンホールカード、缶バッジの配布
- ・その他に、「すいすいクラブ」のオリジナルグッズを配布

成果

- ・3年前(直近)実施のイベントと比べて約2.5倍の方が来場(大幅な来場者数増)
 - ※今回、3年前と同じ時期、場所、時間でイベントを開催
 - 浜松市の下水道に対する興味・関心の喚起、「すいすいクラブ」の認知度向上に繋がる成果!
- ・「すいすいクラブ」を活用したこれら広報活動が評価され、次の賞をW受賞



🌟 令和4年度(第15回)国土交通大臣賞(循環のみち下水道賞)「広報・教育部門」

🌟 令和4年度水道イノベーション賞 特別賞 <公益社団法人 日本水道協会>

→ 受賞をウリとして、今後も積極的な広報活動を展開!

